

諏訪之瀬島の火山活動解説資料（平成 21 年 4 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火¹⁾は40回（3月：14回）でした。諏訪之瀬島ではこれまでも長期にわたり噴火を繰り返しています。

今後も、御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

平成19年12月1日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 4月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図2、図4）

小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火¹⁾は40回（3月：14回）でした。諏訪之瀬島ではこれまでも長期にわたり噴火を繰り返しています。噴煙の最高高度²⁾は、29日の1,000m（3月：800m）でした。

27日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、御岳火口から灰色の噴煙が断続的に上がっているのが確認されました。

・地震、微動の発生状況（図2、図3）

火山性地震の月回数、A型地震が34回（3月：63回）、B型地震は325回（3月：302回）でした。

火山性微動の継続時間月合計は223時間44分（3月：40時間58分）と増加しました。

- 1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としています。
- 2) 2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は遠望監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告のうち高い値を用いています。

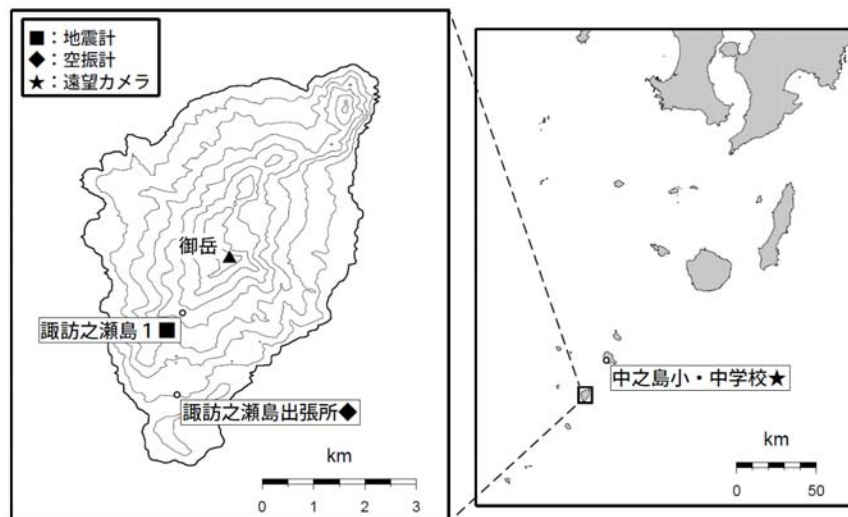


図1 諏訪之瀬島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平20業使、第385号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）、福岡管区気象台ホームページ（<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成21年5月分）は平成21年6月9日に発表予定です。

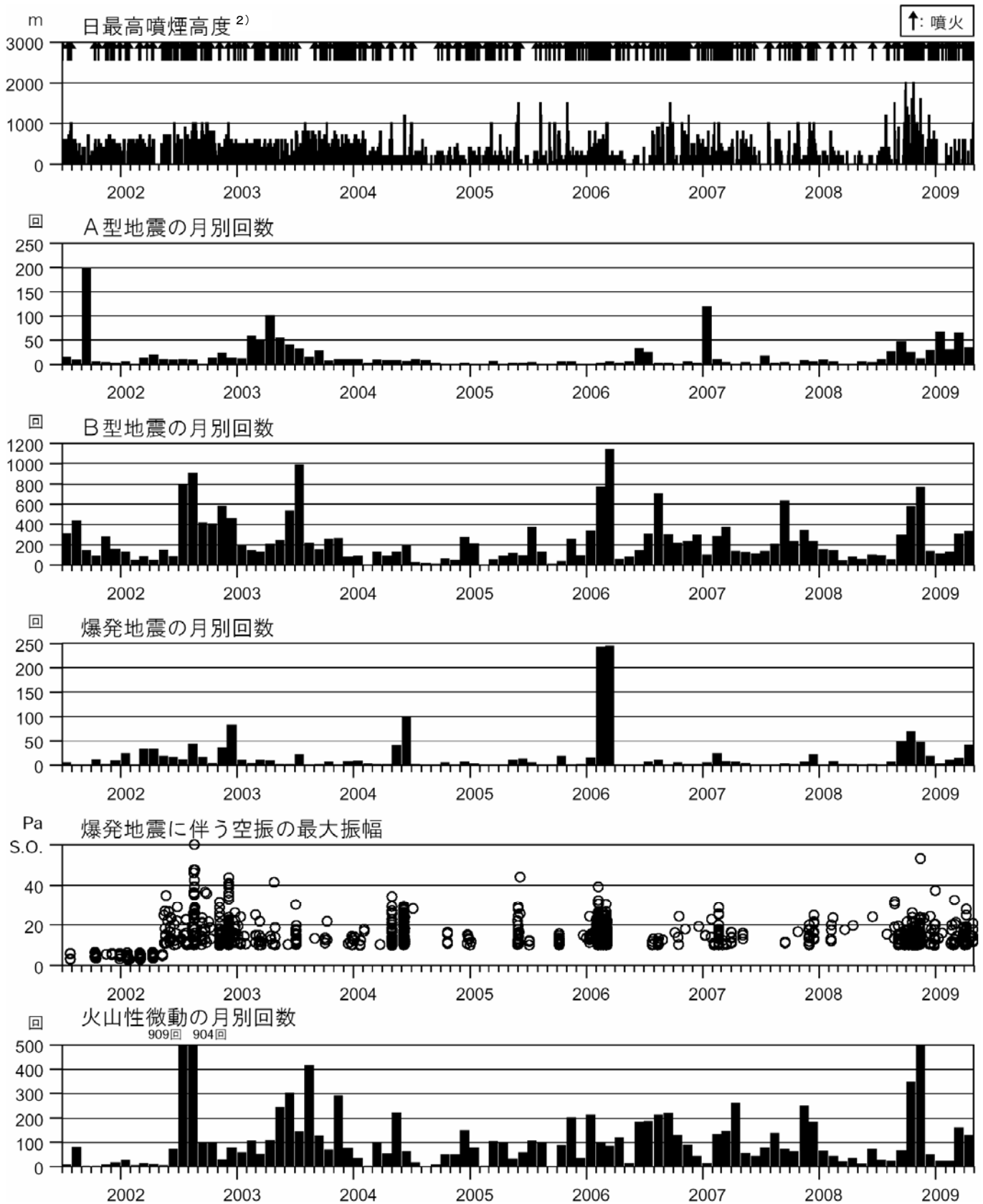


図2 諏訪之瀬島 火山活動経過図（2001年7月～2009年4月）

- ・噴煙の最高高度²⁾は29日の1,000m（3月：800m）でした。
- ・A型地震は月回数は34回（3月：63回）で、B型地震は325回（3月：302回）でした。
- ・爆発的噴火¹⁾は40回発生（3月：13回）しました。
- ・火山性微動の月回数は124回（3月：157回）でした。

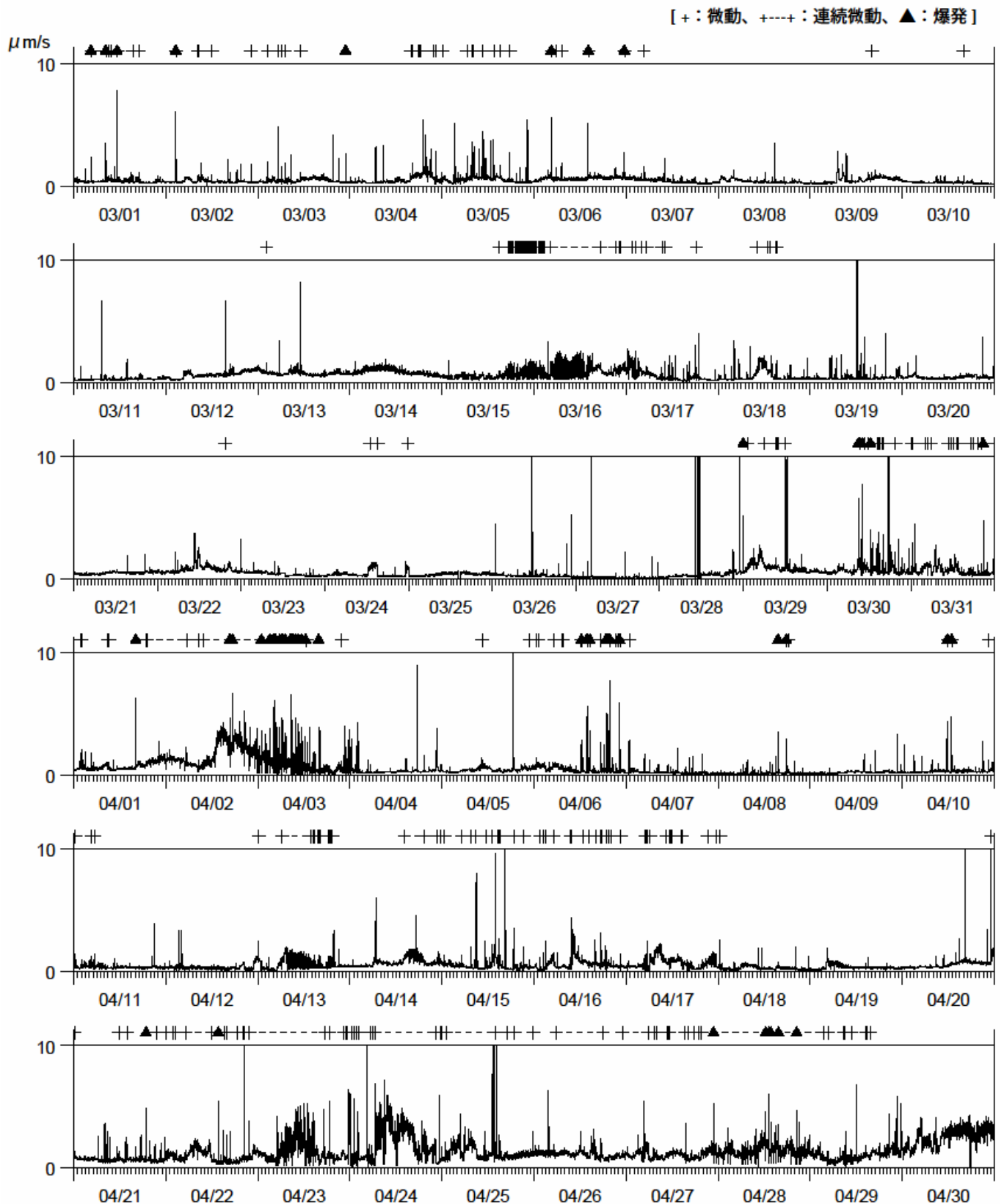


図3 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化（SWA1 上下成分）（2009年3月～2009年4月）
火山性微動の継続時間月合計は223時間44分（3月：40時間58分）と増加しました。



図4 諏訪之瀬島 御岳火口の状況

27日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、御岳火口から灰色の噴煙が断続的に上がっているのが確認されました。